



つながる

No.29 秋号 (2014.10)

なかつがわ図書館



8月3日(日)・17日(日) 手作り絵本講座



7月26日(土) 郷土を知ろう!「中山道」



8月1日(金) 夜の図書館へようこそ!

▲ おばけ役は中高生のジュニアサポーターが大活躍!



8月11日(月) 絵本作家と過ごす夜のひみつの時間

▲ 絵本作家の村上康成さんとキャンドル作りをしました

特集

秋におすすめ!

図書館で趣味を見つけよう!

図書館くらぶです。

ミニゼミ「書くことの楽しさ」・「夢ケーキ作り」

図書館おしらせ

第3回図書館まつり



高橋 杜文さん(神坂)



ふしぎ その ⑫ 『森家 和の文化室』の森さんってどんな人?

2014年

11月30日(日) としょかんまつり

秋に
おすすめ！

図書館で趣味を見つけよう！

秋になりましたね。涼しくなると、新しいことを始めたいくなりますよね。
最近、人気のある趣味の本を集めてみました。

手仕事をしよう！

新しい種類の手仕事の本が増えていきます。
大注目の分野です！



『らくらく七輪陶芸塾』
左古文男（日東書院）

- ・『箱のおりがみ』
布施知子 / 著（日本ヴォーグ社）
- ・『布をチクチク、はんこでベタベタ。』
こまけいこ / 著（文化出版局）
- ・『新聞紙と風船でつくるペーパーマッシュの雑貨』
pigpong = 辻岡ピギー・我那覇陽子 / 著（雄鶏社）
- ・『フェルト羊毛でめぐる 小さな世界旅行』
須佐沙知子 / 著（日本ヴォーグ社）



絵を描こう！

絵を描くといっても、色々な種類があります。
気軽に始められる本を選びました。



『やさしいスケッチ』
秋草愛+ゼリービーンズ
（主婦の友社）

- ・『はじめての水彩色鉛筆』
矢田勝美 / 著（日本文芸社）
- ・『すいすい水墨画』
酒井幸子 / 著（マール社）
- ・『はじめてのはがき絵 秋の花』
浦上善昭 / 著（マール社）
- ・『4色ボールペンでかわいいイラストを描く！』
くわざわゆうこ / 著（主婦の友社）



音楽を奏でよう！

憧れの楽器も、ちょっと変わり種の楽器も、この
機会にチャレンジしてみたいはかがでしょうか？



『初心者ハーモニカ基礎教本』
田中光栄 / 編著（自由現代社）

- ・『超入門クラシックギター塾』
江部賢一 / 著（ヤマハミュージックメディア）
- ・『やさしくたのしく楽譜の読み方』
小林一夫 / 著（日東書院）
- ・『オカリナ入門ゼミ』
橋本愛子 / 編著（自由現代社）



写真を撮ろう！

スマホやケータイだけでなく、たまにはカメラで
日常を切り取ってみましょう！



『はじめての Happy
カメラレッスン』
Atelier*Spoon / 著（インプレスジャパン）

- ・『日本一やさしいデジタルカメラ入門』
中村陽子 / 著（主婦の友社）
- ・『トイカメラのレッスン』
ポパイカメラ / 監修（河出書房新社）
- ・『写真の撮り方ハンドブック』
河野鉄平 / 著（誠文堂新光社）



図書館くらぶ

です。図書館くらぶでは、防災関連講座、健康講座、文化講座などのミニゼミを
毎月開催しています。気軽に参加してください。

5/22

ミニゼミ講演会
「書くことの楽しさ」

講師は郷土の小説家・劇作家の吉村登先生で、
（書くことは自分とじっくり向き合う機会、そして
脳を刺激し活性化すること）と書くことの楽し
さと、その効用をわかりやすくお話しいただきま
した。

講演の後、参加者全員が「その日の私」を原稿
用紙1枚に書きました。阪神淡路大震災の朝、
青春時代のターニングポイントとなった日など、
その時の心情や光景が思い浮かぶようでした。



▲ 吉村登 先生



【問い合わせ・入会】

図書館くらぶ会長 桑澤 ☎ 66-0249

6/14

ミニゼミ「夢ケーキ作り」



こちらは「リボンのお城ケーキ」。
将来はパティシエになるのが夢！



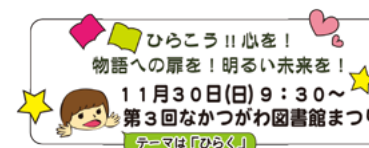
ケーキの上のかざりは
オリジナル！

昨年の図書館まつりで
「お菓子作りは夢づくり」の講演をしていた
だいた伊那市にある「菓匠 Shimizu」シェフ
パティシエ清水慎一さんの「夢ケーキ作り」。
これは、自分の夢を描いた絵をモチーフに
ケーキをデコレーションするというもので
す。たくさんの親子が集まり、ピアノ、飛行機、
リニア新幹線などなど、それぞれの夢のオリ
ジナルケーキを完成させ、大喜びでした。

図書館おしらせ



第3回図書館まつり



2014年 図書館まつりが開催されます！

今年で3回目となる図書館まつり。11月30日（日）9：30から図書館と中央公民館2階にて開催され
ます。今年のテーマは「ひらく」です。「ひらく！！心を！物語への扉を！明るい未来を！」をキャッチ
フレーズに、さまざまなイベントを企画しています。

10月4日（土）は図書館まつりプレイベント！

今年6月に、全国公共図書館協議会から、図書館長の小林光代が表彰されました。
それを記念して、10月4日（土）13：30～のプレイベントでは、館長による講演会を行います。演題は、
「0歳から100歳まで楽しく憩う図書館」です。場所は中央公民館ホールです。ぜひ、お越しください。

● ミニ情報 ●

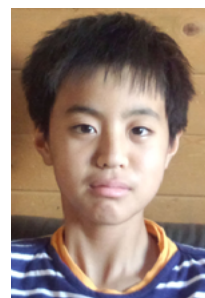
図書館のトイレが、とても明るく使いやすくなりました。「子ども用トイレ」、「おむつ交換台」が新しく設置
されましたので、お子様連れの方も安心してご利用できます。



「アイラブ図書館」は図書館や読書活動に関するたくさんの「愛」をペンリレーで掲載しています。



高橋 郁美さん



中学生
高橋 杜文さん
【神坂】

次はあなた…?

推理小説が教えてくれたこと

僕は読書が好きでいろいろな本をよく読む。元々推理小説が好きだった。推理小説であれば日本文学でも外国文学でも、とにかく推理小説が好きだ。その中でも特にある一冊の本はいまでも鮮明に覚えている。

挑む。

僕は学校の図書館で借りて読んだのだが、まるで本の中に吸い込まれるようにひかれていった。それほどおもしろかった。それから推理小説もよく読むようになった。さらに命の尊さも考えさせられた。自分の勝手な都合のために一人の命を奪う。そのことに怒りを覚えた。皆さんにも命を、そして一日一日を大切に生きてほしい。

それは、アガサ・クリステイ作「ABC殺人事件」。この本は頭文字Aの都市で頭文字Aの人物が殺人される事件から始まる。そして、第二の殺人として頭文字Bの都市で頭文字Bの人物が殺害される。このようにアルファベット順に人が殺害されていく。そんな事件に名探偵エルキュール・ポワロが

推理小説は謎を解くだけでなく、大切なことも教えてくれる。推理小説もぜひ読んでほしい。

ふしぎ その⑫ 『森家 和の文化室』の森さんってどんな人？

調査隊
募集中!

※ 250文字程度で調査結果をどしどしご投稿ください！
※ おたよりの最後に使った資料の名前を書いてください。

次のふしぎは

「茄子川はどうして茄子川という名前なの？」



▲森家 和の文化室の庭園

森家は、かつて中山道中津川宿の脇本陣でした。現在は「森家 和の文化室」と上段の間であった部分が公開されています。森家の先代、森虎雄は長年、京都で判事を勤め、退職後、中津川に帰ってきてからは弁護士として働いていました。また、虎雄の長女の寛子は、第二中学校や落合中学校で英語教師として勤務していました。

森家は、かつて中山道中津川宿の脇本陣でした。現在は「森家 和の文化室」と上段の間であった部分が公開されています。森家の先代、森虎雄は長年、京都で判事を勤め、退職後、中津川に帰ってきてからは弁護士として働いていました。また、虎雄の長女の寛子は、第二中学校や落合中学校で英語教師として勤務していました。

参考資料…
『日本国語大辞典 第二版』（小学館）
『中津川事典』（中津川商工会議所）



今回は寛子の従姉妹さんからおたよりをいただきました

図書館だより
No. 29 秋号

発行 中津川市立図書館
編集 図書館だより編集委員会

〒508-0041 中津川市本町 2-3-25
☎: (0573)66-1308 FAX: (0573)66-6256
ホームページ: <http://nlib.jp/>

2014年

11月30日(日) としょかんまつり